

## 平成29年度第1回 大和市子ども・子育て会議 会議録

日 時 : 平成29年4月25日(火)

午後2時～午後3時40分

場 所 : 大和市保健福祉センター

501会議室

欠席者 : 鳴海委員、野坂委員

傍聴者 : なし

### 1. 開 会

### 2. 会長挨拶

会長 : 今年度第1回目の会議、よろしくお願いします。

子育てというのは、子育てをしている方々よりも、現在の子育てをする環境を作ってきた私たち大人が、もっと関心を持って子育て環境を整えていかなければならないと思います。

今年度もみなさんのお力添えをいただきながら、大和市の子育て支援を頑張っていければと思います。よろしくお願いします。

### 3. こども部長挨拶

こども部長 : 昨年度は大変お世話になりました。今年度もよろしくお願いします。

ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、本市では厚生労働省の基準で、平成29年4月1日時点の待機児童がゼロとなり、2年連続での待機児童ゼロを達成しました。これも皆さまのご意見をいただきながら、少しでも本市の施策に反映させて来られた結果かと思っております。

また、ここで緩めずに引き続きより良い子育て環境を作っていきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

### 4 自己紹介・事務局の紹介

事務局 : (委員 自己紹介) ※平成29年度より委員になった方のみ  
(事務局の紹介)

本日は、平成28年度に子ども・子育て支援に関する調査を委託しました(株)地域環境計画の田中様と佐藤様にもご出席いただいております。

本日の委員の出欠の状況ですが、2名の欠席で17名中15名の出席となり、委員の半数を超えておりますので、会議は成立します。また、本日は傍聴の申し込みはありませんでした。

## 5 議事

### (1) 平成28年度子ども・子育て支援に関する調査結果報告について

- 会長 : 調査結果報告について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局 : 皆様のお手元に、平成28年度に行いました子ども・子育て支援に関する調査報告書を配布しておりますが、100ページを超える内容となっておりますので、詳細については、後程お目通しください。
- こちらの調査につきましては、平成25年度にも同様の調査を行っておりますので、本日はこれまで行った2回の調査結果を比較できるように作成した「資料1-1」に基づき、ご説明をいたします。
- なお、前回調査と異なる点がありまして、外国人登録制度の廃止により、今回の調査対象には外国人世帯を含んだものとなっております。

(資料1-1、資料1-2により事務局より説明)

- 会長 : ただいまの説明について、ご意見ご質問がありましたらお願いします。
- 委員 : 資料1-1の3ページ、平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について、最後に記載されている「これまで幼稚園への就園率が高いという地域特性と言われていたが、認可保育所のウエイトが高まってきている」という一文は一概に言えないのではないかと。調査対象には0歳～2歳の児童が含まれており、幼稚園に入園できない児童も対象となっていることから、単純に幼稚園と保育所の利用比較はできないのではないかと。
- 事務局 : この資料は、前回と今回の調査結果の比較について掲載しているものになります。ただし、委員のおっしゃるとおり、単純な比較はできない部分もございますので、ご意見については今後の参考とさせていただきます。
- 委員 : 内情がわかった方であれば、正確に読み取ることができると思うが、表現には気を付けるべきと考える。
- また、会議の冒頭に待機児童ゼロという話があったが、実態と乖離している現状がある。たしかに厚生労働省基準ではゼロであると思うが、実際に希望する保育所に入れない方もいるので、広報等にあたっては、そのあたりの配慮も必要だと考える。
- 資料1-2の人口推計について、実際には上方修正しているのだから、子ども・子育て支援事業計画についても、2～3年スパンで見直し等を行い、スピーディーに対応していくべき。
- 事務局 : 今後2年間の計画については、今回実施した調査結果を参考に、見直しを行います。

- 委員 : 資料1-1の3ページにある調査対象児童の保護者の就労状況について、母親の就労状況は47.2%となっており、前回調査時よりも就労している母親の割合が上がってはいるものの、それでも大和市は低いような印象を受ける。何か市としての考えなどはあるか。
- 事務局 : 就労をしたいと考えている市民への支援策等は行っていくべきと考えますが、子育てに専念したいと考えている市民を就労に促すまでの施策は、現在のところ考えておりません。あくまで、市民の希望に合わせて、子育て環境を整えていきたいと考えております。

(2) こども部 平成28年度事業報告及び平成29年度事業について

- 会長 : 平成28年度事業報告及び平成29年度事業について、事務局よりご説明をお願いします。
- 事務局 : (資料2に基づき、事務局より説明)
- 会長 : ただいまの説明について、ご意見ご質問がありましたらお願いします。
- 委員 : 9ページにある子育て世帯包括支援センターについて、今後の状況を見ながらで構わないので、9時～17時以外の時間での対応についても検討を進めていただきたい。
- 事務局 : ご意見ありがとうございます。今後の運営の参考とさせていただきます。
- 委員 : 7ページの妊婦歯科健康診査事業について、子育て中はお母さん自身のケアが中々できない状況ではあるが、こういった事業をきっかけにお母さんが自らの健康を見直すことができると思う。ぜひ継続していただきたい。
- 事務局 : ご意見ありがとうございます。
- 委員 : 子育て世帯包括支援センターについては、チラシなどを配布しているのか。学校では良い子にしている児童も、放課後児童クラブなどでは、奔放に振る舞うことも少なくない。結果として児童クラブで問題などが起きやすい状況もある。今後、子育て世帯包括支援センターの連携先として、放課後児童クラブも含めていただきたい。
- 事務局 : チラシの配布は、母子保健手帳交付時等に行っています。小学校で行っている公営児童クラブだけではなく、民営の児童クラブとも連携を図れるよう調整していきたいと考えます。
- 委員 : 保育所の増設に関連し、保育士の確保や、保育士の処遇改善などについて、大和市の現状をお聞かせ願いたい。
- 事務局 : 本市では、平成29年4月1日時点で、保育施設が54施設となった。その中で、保育士の確保がままならず、認可定員の受け入れができない状況となった施設が1つだけあった。それ以外の施設においては、なんとか保育士も確保できており、弾力的運用による認可定員以上の受け入れなどができている施設もある。ただし、どこの施設でも保育士の確保が難しいとは聞いている。
- 処遇改善については、本市単独での支援が難しい部分がある。国の方では、

保育士給与のベースアップを行ってきており、それは本市から施設へ支払っている施設型給付費に反映されている。また、国の補助メニューで追加されたものとして、保育士宿舍の借り上げに係る補助や、保育の周辺業務、たとえば布団の上げ下ろしなどを行うスタッフの人件費補助などがあり、本市としても今年度から新たに補助メニューの一つとして行っていく。

## 6 その他

- 会長        その他について、事務局よりお願いします。
- 事務局    : お配りしておりますスケジュールのとおり、今年度は計7回の開催を予定しており、子ども・子育て支援事業計画の見直しなどを行ってまいりますので、よろしくお願いします。
- 会長        : 他にご意見等ございますか。
- 委員        : なし
- 会長        : なければ以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。最後に職務代理より挨拶をお願いします。

## 7 職務代理あいさつ

- 職務代理    : みなさんお疲れさまでした。
- 本日の議題にありました調査の結果を受けて、大和特有の地域性も考えていかなければならないと思います。就労への希望の高まりをはじめ、ニーズは後から追ってくるという状況が見えたかと思います。
- 今後2年間の計画の見直しは、今年度の会議で行っていきますので、ぜひ色々な情報を集めて、また、近隣市などからも情報を集め、見直し作業を行っていただきたいと思います。
- 本日はこれにて閉会といたします。お疲れさまでした。

以上